



文武両輪

～勉強も行事も部活動も～

令和6年3月26日

【文責】校長 蔦川 誠

今年度を終えるにあたって

本日、令和5年度修了式を行いました。1・2年生の皆さん、進級おめでとう。

今年度、楽しかったことも大変だったことも様々ありましたが、今日で令和5年度の教育活動を終えることができました。文武両面で皆さんが頑張ってくれたことをとてもうれしく思います。来年度も、皆さんの活躍を大いに期待しています。以下に式辞（一部省略）を掲載します。

（前略）

今年度はじめ4月の始業式では、私からは「主体的に行動することを意識してほしい」さらに「伝統の三つの力を身に付けてほしい」という2つのこととお話しました。この1年、皆さんは、この2つを実行することができていたでしょうか。

学習面では、学年が進むにつれて難しくなる学習内容を理解するために、授業中に進んで学習に取り組もうとする姿や、家庭学習やテスト勉強に時間をかけて学力向上を目指す姿が多く見られるようになりました。その結果、学級や学年の中で進んで勉強する雰囲気をつくり出してくれました。

行事では、仲間と協力して一生懸命に取り組む姿が常に見られ、合唱コンクール、体育祭、文化祭の三大大行事をはじめ、全ての行事を成功させることができました。練習の始めの頃はまとまりに欠けるところも見られましたが、練習が進むにつれて、しだいに学級が一つにまとまっていて、本番では大きな充実感や達成感を得ることができました。

部活動においても、今年度は目覚ましい活躍が目立ちました。

こうして振り返ると、勉強でも行事でも部活動でも、主体的に行動する生徒が増えて、大きな成果を挙げてきたと言えます。

また、伝統の三つの力を確実に身に付けて、大きく成長した生徒が増えました。始業式でお話したことを、皆さんが実行してくれて、とてもうれしいです。

先月、2年生は立志式を、1年生は新入生ガイダンスを実施しました。立志式では、一人一人が「将来の夢や就きたい職業、受検に向けて、これからはこうしていきたい」という「志」を立てました。そして、その「志」を人前で堂々と宣言しました。これからも「志」に向けて、ひた向きに努力を続けて、「志」を実現してくれるものと期待しています。今年度、長者中の歴史に新たな歴史を刻み込んだ、卒業生に負けずに立派な3年生となって、長者中を新たな高みに引き上げてくれることを大いに期待しています。

1年生は、新入生ガイダンスを通して、新入生に中学校生活について分かりやすく説明してくれました。寸劇仕立てということもあって、新入生には親しみやすく、中学校生活への期待を大きく高めてくれました。一か月間、しっかりと準備を重ねて、本番も思い通りに終えることができたことと思います。終わった後の皆さんの表情からは、充実感や達成感を伺うことができました。先輩としての力を、新入生に魅せることができたと思います。

この1年間で、2年生も1年生もたくさんの経験を経て、大きく成長を遂げることができました。長者中を引っ張る役割と支える役割を果たす存在へとそれぞれ成長しました。来年度は、3年生として学校をリードし、2年生として学校を支えていくことを、お願いします。

今年度も、「文武両輪の花を咲かせよう～勉強も行事も部活動も～」という合言葉を何回かお話ししてきました。この1年、弛まぬ努力のおかげで、皆さんはたくさんの色とりどりの花を咲かせてくれました。そのことをとてもうれしく思います。

来年度も、新たな仲間とともにたくさんの花を咲かせて、より一層レベルアップした長者中を創っていきましょう。